

「各種汚水処理施設の整備区域（見直し案）」 に関するパブリックコメントの実施結果

各種汚水処理施設の整備区域の見直しにあたり、市民の皆さまからご意見をいただくためにその案を公表し、ご意見を募集しました。実施結果、ご意見の要旨及びご意見に対する回答は次のとおりです。

- 1 募集期間 平成29年7月1日（土）から平成29年7月31日（月）まで
- 2 募集方法 郵送、持参又は市のホームページからの電子申請、FAX
- 3 閲覧場所 市ホームページ、市下水道計画課、市下水道事務所、市廃棄物対策課、市農地整備課、各区市政情報コーナー、各図書館、各生涯学習施設
- 4 募集結果 意見項目数 10項目（全10件）、意見提出者数 6名
- 5 ご意見の要旨及びご意見に対する回答

No.	意見の要旨	回答
1	「下水道」から「浄化槽」への見直しは賛同するとともに、その実現に大いに期待する。人口減少社会における合併処理浄化槽の役割は、効率的かつ効果的に社会的ニーズに応え、災害にも柔軟に対応し得る汚水処理インフラとして、今後ますます重要性を増すと考えられる。	見直し区域への合併処理浄化槽の普及について、努力していきたいと考えております。【廃棄物対策課】
2	見直し案確定後も、下水道と浄化槽のそれぞれのメリットを活かせるよう、例えば、下水道事業計画区域でも人口密度が小さい区域や、飛び地は浄化槽とするなど、それぞれの特性に合わせた現実的な区分けや併用が重要だと考える。	地域ごとに、公共下水道と合併処理浄化槽のどちらが効率的な処理方式になるかを総合的に判断し、区域を決定しています。なお、下水道整備の優先順位を決める際に、参考とさせていただきます。【下水道計画課】
3	見直しに伴い減額した下水道の建設費用を浄化槽の補助金等に回し、浄化槽設置事業費補助金交付制度の見直しや、維持管理・浄化槽法11条検査等に対する補助金制度の創設などについても検討願う。	浄化槽設置事業費補助金交付制度を含む合併処理浄化槽に関する施策については、今後の設置状況の推移や国・他市町の動向を注視し、必要に応じ検討していきます。【廃棄物対策課】
4	今回の見直しは、人口減少に伴いそれぞれの施設の役割分担が適正でないとの判断によるものと考えるが、人口減少は20年ほど前から始まっている。なぜ、いま区域を見直すのか。	静岡市全体の汚水処理施設の普及の状況を示す汚水処理人口普及率^{※1}は、平成28年度末で、89.3%に達しているものの、いまだに汚水処理施設が普及されていない地域も残されており、生活環境の改善・公共用水域の水質保全のため、早期に汚水処理施設の普及を図る必要があります。 また、公共下水道は、近年地震対策や老朽化対策など喫緊の課題が山積み、新たな整備への投資は厳しい状況になってきています。 更に、見直し区域に住んでいる方の約半数は、すでに合併処理浄化槽を設置しており、今後も普及していくことが見込まれます。 これらを踏まえ、今回、見直しを行うこととしました。【下水道計画課】 ※1 汚水処理人口普及率[%] = (公共下水道処理人口 + 農業集落排水人口 + 合併処理浄化槽人口) / 行政人口 × 100

No.	意見の要旨	回答
5	当地区(市街化区域に隣接した市街化調整区域)は、古くからの分譲地で狭い範囲に約30軒ある。コスト的に公共下水道にした方が良い地区である。こうした地区は例外として早急に工事をお願いしたい。	地域ごとに、公共下水道と合併処理浄化槽のどちらが効率的な処理方式になるかを総合的に判断し、区域を決定しています。【下水道計画課】
6	「市街化調整区域」について、新たに「市街化を抑制する区域」と記載している(詳細版P7表右中段)。 しかし、見直し区域には、集落が散在している区域がある一方、市の認可を得た「開発行為」によって形成された区域も存在している。このため、見直し区域を一括りに「市街化を抑制する区域」とするには、それなりの根拠が必要ではないか。	今回の見直しは、市街化区域と市街化調整区域の区域を見直すものではなく、汚水処理の整備区域の区分を適正に見直すものです。 なお、市街化調整区域については、都市計画法第7条3項で、「市街化調整区域は市街化を抑制すべき区域とする。」と規定されています。【下水道計画課】
7	見直し案についてパブリックコメントだけでは総意をつかめない。該当区域(自治会等)への丁寧な説明が必要ではないか。	パブリックコメント以外に、関係する自治会連合会へ説明し、地元の要請に応じ、各自治会などへ丁寧に説明させていただきました(合計16回)。【下水道計画課】
8	見直し区域で、汚水排水を農業用水路に流出することが困難な区域について、どのように対応するのか。	合併処理浄化槽の排水箇所は、原則確保されており、排水施設がない場合は地下浸透を含め排水方法を検討することになります。【廃棄物対策課】
9	農業集落排水を利用している。定住する人が減り、高齢化になってきた。年金生活者にとって使用料が上がっていくと大変なことになるので、大幅に上がることを進めてほしい。	いただいたご意見につきましては、今後の事業展開の参考とさせていただきます。【農地整備課】
10	しずまえ鮮魚にとって、川を通じて供給される栄養分は重要である。水質がきれいになりすぎないことも必要と思うので区域の見直しは良いと思う。	地域ごとに、公共下水道と合併処理浄化槽のどちらが効率的な処理方式になるかを総合的に判断し、区域を決定しています。【下水道計画課】